

| 科目名 | 副題 | 科目概要 |
|-------------------|----|--|
| 応用言語学のための統計解析 | | 応用言語学で必要となる統計的手法の基礎を身につけることを目的とする。量的研究を扱うが、これは、(教育)現象のある側面を変数としてデータを収集し、数値化し統計的に分析をすることによって、現象を理解し客観的に説明するためのものである。本講義では、データの準備段階や基本的な統計の概念を紹介した後、応用言語学における主な量的研究の例を用いて、平均値の差の比較、相関、因子分析等の手法に加え、ノンパラメトリック手法についても学んでいく。また、質問紙調査の方法についても触れる。この科目を通して、各自が量的研究を主とした研究課題に取り組んだり、統計を用いた関連領域の研究をより深く理解するための知識を得ることができる。 |
| 基礎言語情報処理 | | 本演習では、コンピュータを使って言語データを扱うための基盤的な知識と基礎的な技能を身につける。実際にコンピュータを操作しながら、コンピュータと言語情報処理の基礎的な技能を学ぶ。文字コードなど、言語データを扱うための基盤的な知識、基礎的な技能から始め、テキスト処理では、正規表現による文字列の検索や置換、言語解析を使った情報抽出などの力を身につける。そして、実際に言語を数量的に扱うための基礎の1つとしてコーパスを利用した言語研究というアプローチを学ぶ。この科目を通して、コンピュータを用いた言語研究の基礎的な知識と方法論を身につけることができる。 |
| 英語文献講読 | | 本講義では英語で書かれた外国語教育学や言語学における主要な先行研究の論文を批判的に読み、それぞれの分野におけるこれまでの到達点を把握するとともに、それぞれの論文の長所・短所、当該分野で残されている課題などを議論する。この科目を通して、外国語教育・言語学の英語で書かれた研究文献を正確に把握する力を身につけることができる。 |
| 英語アカデミックライティング | | 研究テーマに関して英語で学術的な論文を書く力を身につけるための講義・演習を行う。具体的には、英語でのノートテイキングや要約作成の技術、style sheetについての知識、英語で書かれた外国語教育学や言語学の論文の構成例、先行研究の引用方法、参考文献リストの書き方などを扱う。この科目を通して、5000 words 程度の研究論文が書けるようになる。 |
| 英語アカデミックプレゼンテーション | | この講義・演習では英語で学術的な発表を行うための基礎知識と実践技術を習得する。具体的には、応用言語学の基礎文献や先行研究論文の要約を英語でまとめる技術、効果的なパワーポイントのスライドの作成技術、英語での学術的な発表において頻繁に使用されるフレーズ、効果的な発表の構成と発表方法などを実践を通して習得していく。また、発表後の質疑応答で使えるストラテジーなども検討する。この科目を通して、英語で学術的な研究発表ができるようになる。 |
| 日本語アカデミックライティング | | 研究テーマに関して日本語で学術的な論文を書く力を身につけるための講義・演習を行う。具体的には、要約作成の技術、論文の書式についての知識、日本語で書かれた日本語教育学や言語学の論文の構成例、先行研究の引用方法、参考文献リストの書き方などを扱う。この科目を通して、10000字程度の研究論文が書けるようになる。 |
| 特殊講義 | | 本講義は通常カリキュラムを補強することを目的とし、必要に応じて発展的・特定のテーマを扱う。科目内容はシラバスに記載する。 |